



がっこう 学校だより

がっこう
3月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ ねん がつついたち
令和5年3月1日
よこはま しりつかみい だしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

さくら 桜

こうちょう よこやまよしあき
校長 横山 美明

「おはようございます」正門に立っていると、子ども達が元気にあいさつしてくれます。先日、安全朝会があり、学援隊の方々から「朝のあいさつ」についての話をいただいたおかげです。学校評価にも表れているように本校の9割以上の子が「進んであいさつしている」と答えています。

子ども達とあいさつを交わしながら校庭に目をやると、桜の木の梢がうっすらピンク色になってきているのに気付きました。春がもうすぐそこまで来ているのを感じました。

桜は日本の春を代表する花であり、日本には古くから桜の花を愛でる習慣があります。カラオケ配信情報のサイトで歌の題名に“桜（さくら・サクラ・SAKURA）”を含む曲を検索してみると、約1300件もヒットしました。歌でもそれだけ親しまれているということです。

桜と一言で言っても種類によってその寿命も違います。ヤマザクラは約200～300年、エドヒガンザクラは約500年だそうです。中でも山梨県北斗市の実相寺の境内にある「山高神代桜」（エドヒガンザクラ）は樹齢1800年とも2000年とも言われています。本校の校庭にもあるソメイヨシノはそれらに比べるととても短く、その寿命は約60年と言われています。ただし、手入れがよく行き届いていれば100年以上も長生きすることもあるそうです。ソメイヨシノは江戸時代の末期に園芸品種として人工的に作られたもので、もとは1本の木から増やされたもの、いわゆるクローン植物なのです。ソメイヨシノは他の桜に比べて成長が早く、桜並木を短期間で作ることができ、葉が出るよりも先に花が咲くので、見た目にも美しく花見にはもってこいの品種です。そのため全国の桜並木の8割を占め、現在では桜の代名詞ともなっています。成長が早い分、30～40年をピークにその先は衰えていきます。また、根元を踏むと木が早く弱ってしまうそうです。本校のソメイヨシノも今年で55歳を迎えたので、かなりの高齢ということになります。開校以来、子ども達を見守ってきた桜ですので、しっかりと手をいれて、1日でも長く上小の子ども達を見守ってほしいと思っています。

2020年に新型コロナウイルスの影響に伴う臨時休校による学習の遅れを取り戻すねらいで、日本でも海外の学校に合わせて入学式を9月にするという案が浮上しました。結局、議論を重ねた結果、持ち越しとなりましたが、長年桜の木の下で卒業していく子、入学してくる子を見てきたせいか、個人的には、やはり卒業式や入学式は桜の花の時期に行われるのがいいなと感じています。今年の東京の開花予想は3月18日ということなので、うまくいけば卒業式には咲き始めが見られそうです。

卒業生が巣立っていく、かわいい新入生がランドセルを背負って入学してくる、その背景にはいつも桜がありました。本校の校章も桜、八重桜です。職員玄関横と北門西側に2本の八重桜を植樹してから丸3年が経ちました。八重桜の花言葉は「しとやか」「豊かな教養」「善良な教育」です。これからも上飯田小学校で花言葉通りの「善良な教育」が行われ、子ども達に「豊かな教養」が身に付くよう努めていきたいです。今年度もありがとうございました。